

# 本書の使い方

本書は、いずれ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日ごろ内容に目を通しておきましょう。

## 【本書の特徴】

本書は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しました。  
緊急時に持ち出してご利用ください。

# 索引

本書の使い方・索引	1
風水害対策	2
大雨などによる災害の種類	3
災害に関する情報	4
洪水に備えて・マイタイムラインを作っておきましょう	5
地震対策	6
地域の揺れやすさマップ・自主防災組織を作りましょう	7・8
火災対策	9
わが家の防災対策&チェック	10
指定避難所・指定緊急避難場所とは?	11
若桜町索引 図	12
若桜町詳細図・防災ハザードマップ	13~28
非常時持出品の準備&チェック	29
わが家の「防災・緊急情報」メモ	30

# 風水害対策



大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 雨の強さと降り方

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報  
(土砂災害警戒情報)

大雨特別警報

10~20ミリ やや強い雨	20~30ミリ 強い雨	30~50ミリ 激しい雨	50~80ミリ 非常に激しい雨	80ミリ以上 猛烈な雨
地面からの跳ね返りで足元が濡れる。	どしゃ降りでも傘をさしていても濡れる。	バケツをひっくり返したように降る。寝ていても雨の音に気付く場合がある。	ゴーゴーと滝のように降り、低地では、道路冠水などが始まる。	息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害が発生する可能性がある。
				
1時間雨量 10mm以上20mm未満 やや強い雨	1時間雨量 20mm以上30mm未満 強い雨	1時間雨量 30mm以上50mm未満 激しい雨	1時間雨量 50mm以上80mm未満 非常に激しい雨	1時間雨量 80mm以上 猛烈な雨
●雨の音で話し声が良く聞き取れない。 ※長時間続く時は注意が必要。	●ワイパーを速くしても見づらい。 ●側溝や下水、小さな川があふれる。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	●マンホールから水が噴出する。 ●土石流が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがある。	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

## 風の強さと吹き方

平均風速 10m/s以上15m/s未満	平均風速 15m/s以上20m/s未満	平均風速 20m/s以上25m/s未満	平均風速 25m/s以上
●風に向かって歩きにくくなる。 ●傘がさせない。 ●樋(とい)が揺れ始める。	●風に向かって歩けない。 ●転倒する人もいる。 ●雨戸やシャッターが揺れる。	●しっかりと身体を確保しないと転倒する。 ●風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	●立ってられない。 ●屋外での行動は危険。 ●樹木が根こそぎ倒れはじめる。

## 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。  
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上